みんなのひろば













運動会』

Art Museum

Kids



いけだ わか ちゃん





しらかわ はるひ くん

よしだ まさと くん

Everyone's infirmary

みんなの保健室

『熱中症』に気をつけましょう

8月に入り、気温の高い日が続くと見込まれます。

「熱中症」に気をつけている人も多いと思いますが、「熱中症予防ポイント」について再確認してみ ましょう。

<熱中症の症状>

○めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い

○頭痛、吐き気、嘔吐、身体がだるい、いつもと様子が違う

↑ 重症になると・・・

○呼びかけに対して返事がおかしい、意識がない

○けいれん、からだが熱い、まっすぐに歩けない

※子どもや高齢者は症状がわかりにくく、具合の悪さをうまく表現できないことがあります。 周囲の大人が注意深く子どもの様子を観察したり、お互いの様子に気を配りましょう。

<熱中症の予防ポイント>

暑さを避ける

- ・扇風機やエアコンで温度を調節
- ・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
- ・日傘や帽子の着用
- ・日陰の利用、こまめな休憩
- ・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、身体を冷やす

こまめに水分補給をする

・のどの渇きを感じない、汗をかいていない、そういった場合でも水分を補給する

熱中症が疑われる人を見かけたら

涼しい場所へ



風涌しのよい日陰 やエアコンの効い ている室内へ避難 させましょう。

からだを冷やす



衣服をゆるめて、 冷たいもので体を 冷やしましょう。 (特に首や脇、足の 付け根など)

水分補給



水分や塩分、経口 補水液などを補給 しましょう。

意識がない、水が飲めない場合は、すぐに救急車を呼びましょう!

問保健福祉課保健係